

## 2022 年度事業報告及び決算報告について

### 2022 年度 事業報告

2022 年度においても新型コロナウイルス感染症の第 7 波および第 8 波により制約を課されたなかでの事業活動となったが、ICT チームの支援もあり研修や集会・会議の類はオンライン開催も普通となり、一部では会場と zoom をつないだハイブリット開催も取り入れ、計画していた事業についてはほぼ実施することができた。第 8 回理事会で承認された補正予算案において、当初予算で計上していた繰越金の投入を行わないで事業の執行を終える見込みを得ることができた。

長引くコロナ禍の影響により、生活の困窮とともに人と人とのつながり・交流が分断され孤独・孤立で悩んでいる方々に対して、その相談先となり、緊急的に各種支援施策を届けるためのモデル的な取り組みとして「孤独・孤立相談ダイヤル」の相談対応に内閣府の求めに応じて協力した。

一昨年度の「事業と予算のあり方検討委員会」の報告と経営戦略会議の結果を受け、会員との交流を図る機会として「談話室」を 4 回開催した。

日本会より提案があった若年層の入会促進キャンペーン（30 歳以下を対象に入会金及び年会費を入会年度に限り無料とする）を当会でも導入し、85 名の入会者中 11 名が対象となった。

今年度「経営戦略会議」で、令和 5 年度重点事業を検討し、ICT 活用による情報の管理・発信の効率化を進め、事務局と委員会活動の事務分担を整理すること、会員相互の更なるつながりと本会の活性化・発展を図る為の情報や機会を積極的に提供できるよう委員会・地区の再編を行うこと、会のあり方を議論する場を設け、中長期的に（5 年後を見据え）取り組むべきことを検証することを前年度重点事業に追加することとなった。

ICT 化の取り組みとしては、神奈川県社会福祉士会へ視察に行き、事務局、委員会、会員のそれぞれの負担軽減や効率化、利便性を参考にさせていただいた。今後は、会全体として ICT 化に力を入れ、ばあとなあから積極的に進めていき、順次、他の委員会等での活用を目指していく。具体的には、申し込みフォームの導入や委員会ごとのメールの複数管理、会員情報のデータベース管理、クラウド化を段階的に進めていく。

今後も事業予算の精査を進め、適正な事業の執行と会の運営を確実にするために執行後の収支決算との差異を縮める努力を続けていかなければならない。

災害対策は委員会活動として千葉県 DWAT シミュレーション、訓練九都県市合同防災訓練（千葉県会場）、内閣府の災害支援促進研修に参加した他、新規事業としてコミュニケーションメディア『災・コ・メ』を創刊し、被災地支援活動協力員メーリングリストにて 3 回メール添付送信した。

ばあとなあの活動は、家裁からかの後見人の依頼が約 468 件、合計 1,922 件となっている。各自治体への中核機関の委員や講師派遣、県民からの権利擁護の電話相談を担当している。日本会の活動報告システムを導入し、ICT 化、ペーパーレス化を進めている。

他団体等の協働事業として、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行い、『地域で生きる』を支援する～かかわり・つながり・協働する～外国人支援の基礎知識の研修を実施した。

千葉県弁護士会、千葉県公認心理師協会を加えた 5 団体「福祉と司法の連絡協議会」では、「貧困問題に関する懇談会」、「暮らしとこころの相談会」「福祉と司法の千葉県キャラバン特別企画～子ども・若者のアドボカシーについて考えよう～」への参加協力を行った。外国人の生きる権利を考える裁判の報告を共有し、外国人の生きる権利を考える会立ち上げに参画した。

こども・若者分野については、国に、こども家庭庁が創設、成人年齢の18歳への引き下げがあり、変革期とも言える。会としても、スクールソーシャルワーカーで活動している会員の場合、また、社会問題であるいじめ、子どもの貧困、ヤングケアラー、児童虐待防止、ケアリーバー等についても今後、学びや連携の場を検討していきたい。

地域共生社会の実現にむけ、具体的な形として重層的支援体制整備事業が示され、県内でも複数の自治体で本事業が実施される中、総合的かつ横断的な相談支援のあり方を検証する必要がある。私たちはソーシャルワーカー団体としての役割を確認して活動を継続していく。

各自治体の委員等の推薦については、2022年度から試験的に会員自身がエントリーシートを記入、資格や経験のほか、当会の活動状況、貢献度を選考基準とした。今後、原則4期8年を上限等のルール化も検討していく。

千葉県社会福祉センターの新設移行に伴い当会の事務局も同センター5階へ年度末に移転した。入館している千葉県社会福祉協議会や介護福祉機関、当事者団体等とも連携していく機会としたい。

## 1. 総会及び理事会の開催と会の運営

### 【総会】

#### 第10回定時総会

開催日 2022年6月26日

議案第1号 2021年度事業報告及び決算報告について（2021年度監事監査報告書）

議案第2号 役員を選任について

議案第3号 規則第4号 報酬等に関する規則の変更について

議案第4号 規則第5号 負担金規則の改廃について

### 【理事会】

#### 第1回理事会

開催日 2022年5月15日 千葉県社会福祉センターおよびZoomによるWeb併用会議

出席者 渋沢、山口（利）、宮本、古澤、樽林、及川、堀江、秦野、谷口、前田、長嶋、四ノ宮、宮下、安藤、服部、若林、山田、葛田、片山、山口（定）、市原、岡本（武）、常陸谷、白井、浅見、松本、石橋、伊藤、高橋

欠席者 山下

#### <議事・報告>

- ・ 事務局人事について
- ・ 2022年度総会資料（案）について  
2021年度事業報告・決算報告について
- ・ 役員選任について
- ・ 規則変更（案）について
- ・ 経営戦略会議からの報告について
- ・ システム（神奈川県社会福祉士会視察）導入について

#### 第2回理事会

開催日 2022年6月26日 千葉県社会福祉センターおよびZoomによるWeb併用会議

出席者 渋沢、山口（利）、宮本、古澤、樽林、及川、堀江、秦野、前田、長嶋、四ノ宮、宮下、

安藤、服部、若林、山田、山口(定)、市原、岡本(武)、常陸谷、白井、浅見、松本、石橋、伊藤、高橋

欠席者 谷口、山下、葛田、片山

<議事・報告>

- ・ 代議員の候補者について
- ・ 第 10 回定時総会及び意見交換会について
- ・ 第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 東京大会について
- ・ 「統一的な相談窓口体制の推進」への協力依頼について
- ・ 入会促進キャンペーンについて（意見交換）

### 第 3 回理事会

開催日 2022 年 6 月 26 日 千葉県社会福祉センター 5 階大研修室

出席者 榎林、山口(利)、古澤、白井、秦野、瀧澤、松本、及川、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、伊藤、高橋、市原、岡本(武)

欠席者

<議事・報告>

- ・ 新役員による会長互選および三役の選任

### 第 4 回理事会

開催日 2022 年 8 月 7 日 Zoom による Web 会議

出席者 榎林、山口(利)、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、伊藤、服部、片山、吉留、中村、水野、市原、岡本(武)、渋谷

欠席者 高橋、山下

<議事・報告>

- ・ 事務局職員の採用について
- ・ 法人後見について
- ・ 高齢者虐待対応研修について
- ・ 令和 5 年度予算編成について
- ・ 経営戦略会議後の取り組みについて
- ・ 入会促進退会抑制について
- ・ 委員会の再編について
- ・ 受託事業について
- ・ 「高齢者虐待防止法の改正を視野にいれた提言についての意見募集」について

### 第 5 回理事会

開催日 2022 年 9 月 4 日 Zoom による Web 会議

出席者 榎林、山口(利)、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、片山、中村、水野、山下、吉留、市原、渋谷

欠席者 伊藤、高橋、岡本(武)

<議事・報告>

- ・ 孤独・孤立相談ダイヤルの取り組みについて

- ・ 談話室の開催について
- ・ Zoom のアカウント管理とスケジュールリングについて
- ・ 事務局職員の採用後について
- ・ 令和5年度予算編成及び事業計画について
- ・ 理事会開催に伴う資料提出期日等について
- ・ 新入会員（3人）の承認について
- ・ 各委員会の委員の選任及び委嘱状交付について
- ・ 外国人の生きる権利を考える会について
- ・ ばあとなあ千葉より

## 第6回理事会

開催日 2022年11月6日 千葉県社会福祉センター大研修室

出席者 樽林、古澤、白井、秦野、及川、伊藤、松本、浅見、四ノ宮、宮下、服部、中村、水野、吉留、市原

欠席者 山口、瀧澤、高橋、石橋、岡本（武）、片山、山下

### <議事・報告>

- ・ 孤独・孤立相談ダイヤルの取り組みについて
- ・ 談話室の開催について（ウェルカムパーティと今後について）
- ・ 令和5年度事業計画・予算編成について（スタッフ報酬とヒヤリング）
- ・ ICT化への取り組み
- ・ 新社会福祉センターへの移転について（4月1日開館）
- ・ 代議員の定数未達について
- ・ 2022年度 関東甲信越ブロック連絡協議会の開催について
- ・ 外部委員の推薦について（プロジェクトチームの編成）
- ・ 各委員会の委員の選任及び委嘱状交付（倫理委員会の委員補欠の選任）について
- ・ 新入会員（10名）の承認について
- ・ インボイス制度について一登録申請手続きの承認について
- ・ 災害対策委員会からの承認事項

## 第7回理事会

開催日 2023年1月22日 ZoomによるWeb会議

出席者 樽林、山口（利）、古澤、白井、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、石橋、宮下、服部、高橋、片山、中村、水野、吉留、市原、渋谷

欠席者 伊藤、岡本（武）、山下、竹嶋

### <議事・報告>

- ・ 孤独・孤立相談ダイヤルの取り組みについて
- ・ 談話室の開催について
- ・ 外部委員の推薦について
- ・ 経営戦略会議について
- ・ 2022年度 関東甲信越ブロック連絡協議会の開催について
- ・ 新社会福祉センターへの移転について（4月1日開館）

- ・ 事務局人事について
- ・ インボイス制度の進捗について
- ・ 代議員の定数未達について
- ・ 次年度理事会開催日程案
- ・ 新入会員の承認について
- ・ J C 模擬試験（J C 教育研究所）との継続契約について
- ・ eラーニングの導入について（導入する場合は日本社会福祉士会へ 年間 4月～翌年3月 165,000 円支払う）
- ・ ばあとなあ受任会費の用途拡大と上限廃止について

## 第 8 回理事会

開催日 2023 年 3 月 12 日 Zoom による Web 会議

出席者 樽林、山口（利）、古澤、秦野、及川、瀧澤、松本、浅見、四ノ宮、宮下、伊藤、片山、中村、水野、吉留、市原、岡本（武）、渋谷

欠席者 白井、服部、石橋、高橋、竹嶋

### < 議事・報告 >

- ・ 談話室の開催について（3 月 26 日日曜 19:00～20:30 入社直前 フォローアップ交流会）
- ・ 2022 年度 関東甲信越ブロック連絡協議会幹事報告について
- ・ SW3 団体研修について
- ・ 新社会福祉センターへの移転について
- ・ 事務局人事について
- ・ 外部理事（山下興一郎様）退任報告および外部委員の推薦について
- ・ 退会者について
- ・ 2022 年度補正予算案および 2023 年度予算案
- ・ 2023 年度事業計画案
- ・ 総合相談委員会の新規委員メンバーの承認
- ・ J C 模擬試験（J C 教育研究所）の 2024 年度の契約無効の取消し願い
- ・ ばあとなあ運営委員会の新規運営委員の承認
- ・ 司法福祉委員会の事業におけるスタッフ報酬について

## ● 「談話室」の開催

本年度から、会員が、ふらっと立ち寄り、何とはなしに、語り合えたり、他の人が語り合っている話を横で聞いていたりできる場が欲しいねということで、理事会開催後に談話室を設けた（第 4 回だけは別日）。各回とも活発な意見交換が行われ交流が図れた。

（第 1 回）9 月 4 日 13:30～14:30 オンライン

内容：電話相談 参加者：9 名

（第 2 回）11 月 6 日 14:00～16:00 千葉県社会福祉センター5 階大研修室

内容：ウェルカムパーティー

ミニ講座「倫理綱領」、他の社会福祉士に聞いてみたいこと、名刺交換会

(第3回) 1月22日 14:00~16:00 オンライン

内容：思っていることをどんどん語ろう！ 参加者：7名

(第4回) 3月26日(日) 19:00~20:30 オンライン※県内の養成校へチラシ配布

内容：先輩SWからワンポイントアドバイス(高齢分野、障害分野、独立型事務所、行政、社協)、  
不安を解消する質問コーナー 参加者：11名

## 2. (公社) 日本社会福祉士会への活動参加

- 第二期成年後見制度利用促進基本計画説明会  
出席者：四ノ宮 章氏、古澤 肇氏、服部 明氏、太田 和美氏、吉田 愛子氏、武藤 州範氏、朽名 高子氏、遠坂 貴志氏、今川 純子氏、小川 晴雄氏、越後谷 恒春氏、梶原 幸夫氏
- 2022年度第1回 全国生涯研修委員会議  
出席者：浅見 雅人氏
- 高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会(オンライン)  
出席者：市原 久夫氏
- 2022年度第1回生涯研修センター協議会  
出席者：樽林 元樹氏
- 2022年度実習指導者講習会講師養成研修(5/16~6/19 視聴含む)  
出席者：浅見 雅人氏
- 第34回通常総会  
出席者：樽林 元樹氏
- 2022年度新スーパーバイザー養成研修  
出席者：宮下 朱実氏
- 多文化ソーシャルワークプロジェクト委員会委員  
出席者：南野 奈津子氏
- 2022年度都道府県社会福祉士会会長会議(ZOOM開催)  
出席者：樽林 元樹氏
- 倫理綱領・行動規範伝達研修 講師養成研修  
出席者：市原 久夫氏、松本 友寿氏、石橋 大輔氏
- 2022年度 都道府県ぱあとなあ連絡協議会  
出席者：古澤 肇氏、四ノ宮 章氏、石橋 大輔氏、長尾 景子氏
- 2022年度第2回生涯研修センター協議会  
出席者：白井 正和氏
- 第2回全国生涯研修委員会議  
出席者：浅見 雅人氏、白井 正和氏  
2022年度 生活困窮者支援ソーシャルワーク研修  
出席者：本間 貴大氏
- 都道府県社会福祉士会 災害担当者会議  
出席者：服部 明氏
- 2022年度ぱあとなあ関東甲信越ブロック連絡会

出席者：古澤 肇氏、四ノ宮 章氏

- 2022 年度基礎研修講師養成研修  
出席者：浅見 雅人氏、白井 正和氏、堀江 亜希子氏、小野寺 浩氏、竹村 葉子氏
- 地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修（講師養成研修）  
出席者：浅見 雅人氏、白井 正和氏、宮本 哲男氏、石橋 大輔氏、塩原 貴子氏、福間 勝可氏
- 意思決定支援指導者養成研修  
出席者：白井 正和氏
- 2022 年度関東甲信越ブロック社会福祉士会連絡協議会（幹事県）  
出席者：樽林 元樹氏、山口 利史氏、古澤 肇氏、秦野 隆治氏、及川 哲氏、伊藤 佳世子氏
- 2022 年度スクールソーシャルワーク実践アドバイザー研究交流集会  
出席者：市原 久夫氏、山田 茜氏、安井 飛鳥氏、池原 星子氏
- 2022 年度臨時総会（ZOOM 開催）  
出席者：樽林 元樹氏

### 3. 本会が推薦した各種委員等

#### 【外部委員（推薦）】

- 匝瑳市社会福祉協議会 匝瑳市社会福祉協議会法人後見運営委員  
推薦：常陸谷 政彦氏
- 流山市社会福祉協議会 流山市成年後見推進センター地域ネットワーク会議委員  
推薦：古澤 肇氏
- 柏市社会福祉協議会 かしわ福祉権利擁護センター令和4年度候補者調整会議  
推薦：四ノ宮 章氏
- 市川市社会福祉協議会 アドバイザー  
推薦：三橋 俊一氏、池田 雅弘氏、石崎 麻美氏
- 船橋市 地域包括ケア推進課 船橋市権利擁護に関する事例検討会議構成員  
推薦：赤堀 久理子氏
- 柏市 地域包括支援課 柏市権利擁護ネットワーク会議（全体会）、高齢者に関する専門部会委員、成年後見制度に関する専門部会委員  
推薦：古澤 肇氏
- 松戸市社会福祉協議会 松戸市成年後見制度利用促進協議会委員  
推薦：小川 晴雄氏
- 浦安市 障がい事業課 浦安市高齢者・障がい者権利擁護協議会委員  
推薦：長尾 景子氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県地域福祉フォーラム幹事会委員  
推薦：宮本 哲男氏
- 千葉県社会福祉協議会 千葉県運営適正化委員会委員  
推薦：目黒 義昭氏、宮間 秀二氏
- 茂原市社会福祉協議会 もばら後見支援センターもばら後見支援センター運営委員  
推薦：北山 静香氏

- 千葉市保健福祉総務課 千葉市社会福祉審議会委員  
推薦：岡本 武志氏
- 佐倉市社会福祉協議会 佐倉市成年後見支援センター受任調整会議及び運営会議事例検討会  
推薦：高美 修次氏
- 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和3年度千葉県地域リハビリテーション協議会員  
推薦：松本 友寿氏
- 千葉県健康福祉部高齢者福祉課 認知症対策推進班 千葉県認知症対策推進協議会委員  
推薦：平野 香氏
- 千葉県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター千葉県新地域支援事業推進協議会  
推薦：井上 幸子氏
- 木更津社会福祉協議会 木更津市権利擁護推進会議委員  
推薦：遠坂 貴志氏
- 木更津社会福祉協議会 木更津市重層的支援会議専門職アドバイザー  
推薦：遠坂 貴志氏
- 八千代市 長寿支援課 八千代市介護認定審査会委員  
推薦：中山 敏子氏、三橋 俊一氏、吉原 比呂美氏、市川 澄子氏
- 船橋市 介護保険課 船橋市介護認定審査会委員  
推薦：吉田 愛子氏、助川 未枝保氏、福島 節子氏、服部 明氏
- 市原市社会福祉協議会 市原市成年後見支援センター 成年後見制度利用促進協議会委員  
推薦：朽名 高子氏
- 成田市高齢者福祉課 成田市成年後見支援センター成田市成年後見制度利用促進協議会委員  
推薦：高橋 利宏氏
- 浦安市社会福祉協議会 後見支援委員会委員  
推薦：長尾 景子氏
- 袖ヶ浦市社会福祉協議会 権利擁護推進会議委員  
推薦：梶原 幸夫氏
- 船橋市 介護保険課 船橋市介護認定審査会委員  
推薦：吉田 愛子氏、福島 節子氏、助川 未枝保氏、服部 明氏
- 八千代市 長寿支援 八千代市介護認定審査会委員  
推薦：中山 敏子氏、三橋 俊一氏、吉原 比呂美氏、市川 澄子氏
- 市原市 高齢者支援課 市原市介護認定審査会委員  
推薦：勝亦 雅美氏、増田 宏幸氏、佐藤 裕幸氏
- 佐倉市 高齢者福祉課 成年後見制度利用促進に関する検討会委員  
推薦：高美 修次氏
- 市原 市共生社会推進課 市原市成年後見制度利用促進審議会委員  
推薦：朽名 高子氏
- 市原市 共生社会推進課 市原市地域福祉推進協議会委員  
推薦：大戸 優子氏
- 野田市 社会福祉協議会 野田市成年後見支援センター運営委員  
推薦：井部 泰子氏
- 船橋市 障害福祉課 船橋市障害者介護給付費等認定審査会委員

推薦：薄井 哲子氏、齊藤 茂雄氏、本間 直毅氏、矢島 陽一氏、助川 未枝保氏、  
山崎 利枝氏

- 千葉市 生涯福祉サービス課 千葉市障害者介護給付判定審査会委員  
推薦：吉田 愛子氏、矢島 陽一氏、竹嶋 信洋氏、堀江 亜紀子氏
- 八千代 市社会福祉協議会 成年後見運営委員  
推薦：市川 澄子氏
- 野田市 高齢者支援課 野田市介護認定審査会委員  
推薦：古澤 肇氏
- 松戸市 介護保険課 松戸市介護認定審査会委員  
推薦：吉田 真一氏、加賀谷 栄岳氏、井部 泰子氏、石橋 大輔氏
- 四街道市 四街道市介護認定審査会委員  
推薦：中山 達雄氏、大藤 康弘氏、高橋 利宏氏
- 八街市 高齢者福祉課 八街市高齢者福祉計画策定審議会委員  
推薦：吉井 稔氏
- 浦安市 障がい福祉課 浦安市介護給付費等の支給に関する審査会委員  
推薦：宮崎 淳子氏、樽林 元樹氏
- 市原市 保健福祉部障がい者支援課 市原市障害者介護給付費等審査会委員  
推薦：大戸 優子氏、飯田 俊男氏、佐藤 滋洋氏
- 船橋市地域包括ケア推進課 船橋市権利擁護支援等推進協議会委員  
推薦：山本 誠一氏
- 市原市社会福祉協議会 市原市成年後見支援センター成年後見制度利用促進調整会議  
推薦：朽名 高子氏
- 船橋市 船橋市高齢者虐待防止等ネットワーク運営委員  
推薦：目黒 義昭氏
- 船橋市 船橋市高齢者虐待防止等ネットワーク担当者会議構成員  
推薦：佐藤 むつみ氏

#### 【講師派遣・外部講師依頼】

- 2022年6月16日  
富里市中部東地域包括支援センター 富里市介護保険事業者連絡会講師  
講師：秦野 隆治氏
- 2022年8月31日  
千葉市社会福祉協議会 社会福祉士養成課程相談援助実習生へ講義  
講師：竹嶋 信洋氏
- 2022年9月6日(火)  
千葉県女性サポートセンター 担当者級会議内高齢者虐待について講義  
講師：松本 友寿氏
- 2022年9月6日(火)  
千葉県女性サポートセンター 障害者虐待についての講師  
講師：渋澤 茂氏
- 2022年9月16日(金)

千葉市あんしんケアセンター山王 成年後見制度研修

講師：石橋 大輔氏

- 2022年9月29日(木)、10月3日(月)、7日(金)、11日(火)、12日(水)、14日(金)、20日(木)、25日(火)、27日(木)、11月9日(水)、12月1日(木)、2023年2月2日(木)  
千葉県社会福祉協議会千葉県後見支援センター成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣  
アドバイザー：遠坂 貴志氏、長尾 景子氏、四ノ宮 章氏、高美 修次氏、古澤 肇氏、石橋 大輔氏、根本 優子氏、梶原 幸夫氏
- 2022年10月5日(水)  
浦安市社会福祉協議会 うらやす成年後見支援センター第4期浦安市市民後見人養成講座講師  
講師：長尾 景子氏
- 2022年10月12日(水)  
習志野市谷津地域包括支援センター 習志野市介護支援専門員向け研修  
講師：松本 友寿氏
- 2022年10月28日(金)  
柏市社会福祉協議会 令和4年度成年後見制度シンポジウム  
講師 古澤 肇氏
- 2022年11月17日(木)、11月24日(木)  
佐倉市社会福祉協議会 令和4年度介護職員初任者研修  
講師：岡本 崇広氏
- 2023年2月3日  
千葉県高齢者福祉課 千葉県高齢者虐待防止対策研修(事業所向け)  
講師：谷口 さなえ氏
- 2023年2月5日  
神奈川県社会福祉士会 災害支援活動者養成研修  
講師：服部 明氏
- 2023年2月25日(土)  
佐倉市社会福祉協議会 市民後見人養成講座  
講師 岡本 崇広氏、鈴木 将人氏
- 2023年3月25日(土) 26日(日)  
山武市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ講座  
講師：古澤 肇氏、石橋 大輔氏

#### 4. 後援・協賛

- 2022年6月～2023年2月まで『ZOOM』使用による講習 (株)NHKグローバルメディアサービス  
学校法人敬心学園職業教育研究開発センター2022年度介護教員講習会後援
- 2022年9月17日 特定非営利活動法人リンク  
特別研修会「認知症とともにあたりまえに生きていく」後援
- 2022年10月30日 千葉県歯科医師会  
ちば県民いい歯とお口の健康ウイーク ～いい歯のイベント2022～」後援
- 2022年11月3日 千葉県がん患者大集合2022実行委員会

千葉県がん患者大集合 2022 後援

- 2022 年 11 月 9 日 千葉県社会福祉協議会  
第 72 回千葉県社会福祉大会後援
- 2022 年 12 月 1 日～2023 年 1 月 15 日および 2 月 13 日～3 月 31 日(動画配信) 成田市社会福祉協議会 精神障がい者ピア・サポーター養成講座記念講演会後援
- 2023 年 1 月 29 日 千葉県社会福祉協議会 千葉県福祉人材センター  
令和 4 年度福祉のしごとセミナー・福祉のしごとガイダンス 後援
- 2023 年 2 月 19 日 千葉県介護福祉士会  
「訪問介護フォーラム 2022」後援
- 2023 年 3 月 5 日～2023 年 3 月/26 日 (一社) 千葉県作業療法士会  
第 24 回千葉県作業療法士学会後援

## 5. その他の活動

### 【内閣府への参加協力】

- 「孤独・孤立相談ダイヤル」相談対応
- ① 8 月 31 日～9 月 5 日 12 人  
樽林 元樹氏、白井 正和氏、伊藤 佳世子氏、古澤 肇氏、渋澤 茂氏、安藤 宏之氏、及川 哲氏、山口 利史氏、宮下 朱美氏、飯田 義也氏、服部 明氏、市原 久夫氏
- ② 12 月 1 日 8 人  
樽林 元樹氏、白井 正和氏、伊藤 佳世子氏、及川 哲氏、宮下 朱実氏、服部 明氏、古橋 由香、谷口さなえ氏
- ③ 12 月 28 日～29 日 11 人  
服部 明氏、飯田 義也氏、谷口 さなえ氏、前田 久美子氏、及川 哲氏、宮下 朱実氏、古橋 由香氏、青木 一磨氏、堀江 亜希子氏、伊藤 佳世子氏、白井 正和氏
- 2023 年 1 月 16 日(月)午後 1 時～午後 4 時 30 分 内閣府災害支援促進研修  
出席者：服部 明氏

### 【千葉県への協力】

- 2022 年 6 月 28 日 (火)  
千葉県健康福祉部健康づくり支援課 令和 3 年度千葉県地域リハビリテーション協議会  
出席：松本 友寿氏
- 2022 年 8 月 4 日(木)  
千葉県教育庁生徒指導・いじめ対策室 令和 4 年度いじめ問題対策連絡協議会  
出席：安井 飛鳥氏
- 2022 年 9 月 7 日(水)  
千葉県健康福祉部健康づくり支援課 第 2 回千葉県地域リハビリテーション協議会  
出席：松本 友寿氏
- 2022 年 10 月 23 日 (日)  
千葉県防災危機管理部防災対策課災害対策室 第 43 回 (令和 4 年度) 九都県市合同防災訓練  
(千葉県会場訓練)  
出席：服部 明氏、伊藤 佳世子氏

#### 【千葉県社会福祉協議会への協力】

- 2022年6月7日(火)  
令和4年度第1回理事会(決議の省略) → 渋澤 茂氏(同意書 郵送)
- 書面開催  
令和4年度千葉県介護保険関係団体協議会総会
- 2022年7月12日(火)  
千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 令和4年千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第1回定例会  
出席：服部 明氏、伊藤 佳世子氏、山口 利史氏
- 2022年8月3日(水)  
千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 生活支援体制づくりに関する印旛圏域の情報交換会  
出席：井上 幸子氏
- 2022年9月22日(木)  
千葉県社会福祉協議会 令和4年度千葉県後見支援センター関係機関連絡会議  
出席：古澤 肇氏
- 2023年1月16日(火)  
千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター令和4年度「多様な主体間における連携促進のための研修会」  
出席：服部 明氏
- 2023年1月27日(土)  
千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター 令和4年度 千葉県災害ボランティアセンター図上訓練  
参加者：服部 明氏
- 2023年3月8日  
千葉県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター令和4年度千葉県災害ボランティアセンター連絡会 第3回定例会  
出席：伊藤 佳世子氏

#### 【市町村及び他団体への協力】

- 2022年5月19日  
松戸市常盤平地域包括支援センター 地域包括ケア推進会議  
出席者：小野 恵美子氏
- 2022年6月2日(木)  
千葉県災害復興支援土業ネットワーク 意見交換会  
出席：服部 明氏
- 2022年7月22日(土)  
厚生労働省成年後見制度利用促進室(ZOOM開催へ変更)成年後見制度利用促進・総合的な権利擁護支援に係る地域巡回自治体セミナー 出席：四ノ宮 章氏、服部 明氏
- 2022年7月29日(金)

佐倉市社会福祉協議会 令和4年度佐倉市成年後見支援センター第1回運営会議及び受任調整会議 出席：高美 修次氏

- 2022年9月15日(木)  
介護労働安定センター 令和4年度第1回介護労働懇談会  
出席：白井 正和氏
- 2022年9月17日(土)  
千葉県弁護士会 暮らしと心の相談会相談員  
出席：白井 正和氏、服部 明氏、飯田 大輔氏
- 11/7・12/1・12/13のいずれかおよび12/16、オンデマンド研修(10/3~2月末)  
厚生労働省一般財団法人長寿社会開発センター成年後見 都道府県アドバイザー研修  
出席：古澤 肇氏
- 2023年3月23日(木)  
千葉県災害復興支援士業ネットワーク 士業ネットワーク意見交換会  
出席：服部 明氏
- 2023年3月25日(土)  
千葉県弁護士会 暮らしと心の相談会相談員(自殺対策強化月間全国一斉開催)  
出席：樽林 元樹氏、樫尾 則美氏、山崎 泰介氏、間島 淳子氏、塩原 貴子氏

## 6. 各委員会・部会

### (1) 総務委員会

#### ①企画部会

- 企画部会・世話人合同会議

(第1回)日時:8月25日(木)19:00~20:00

参加者:7名

#### ①報告事項

地域集会について、第1回千葉県いじめ対策連絡協議会、福祉と司法の千葉県連絡協議会、談話室開催

#### ②協議事項

10年後、千葉県社会福祉士会がどうなっていればいいのか?

(第2回)日時:10月24日(月)19:00~20:00

参加者;13名

#### ① 報告事項

地域集会について、世話人募集、点と線での地域集会特集記事掲載

#### ②協議事項

若い社会福祉士の会への参加促進

(テーマ別 オンラインミーティング)日時:12月16日(金)19:00~21:00

参加者 6名(部会員限定せず参加希望者を募り意見交換)

#### ②協議事項

若手が活躍できる場について

## ア 地域集会

ウィズコロナの情勢下、前年度はほぼオンライン開催だったところ、14 回開催のうち、8 回は集合形式もしくはハイブリット型で開催された。オンラインの特性を生かし、すべての地域集会在、参加対象を県全域とした。

昨年度、「事業と予算のあり方検討委員会報告」で課題とされた「地域集会の活性化を含めた根本議論」を踏まえ、地域集会開催要綱を改訂し、世話人以外の会員が、自主的な企画を地域集会として企画し開催、会員への周知、費用の補助等を活用できることとなった。

会報誌「点と線」で、地域集会を特集し、新たなネットワークを開拓、創造していくことを希望した方に、インターネットフォームに登録していただくと、後日、担当理事から連絡し、補助制度、世話人を紹介する体制をとった。

<地域集会開催内容> 延べ 14 回 243 名(前年度延 11 回 194 名)

	地域	内容	開催場所・形式	参加人数
5 月 18 日(水) 19:00~21:00	市川・浦安・松戸地区+ 第 89 回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山) 合 同	「事例道場 ~自分の仕 事を知ってもらうに は~」	オンライン	19 名
7 月 18 日(月・祝) 10:00~15:00	印西・白井・栄・成田・富 里・酒々井・佐倉・四街 道・八街地区	シンポジウム「権利擁護 とは何か? ~それぞれ の領域からの知見~」、 交流会	佐倉市南部地域 福祉センター +オンライン	32 名
7 月 20 日(水) 19:00~21:00	第 90 回福祉道場(柏・ 我孫子・野田・流山)	「国籍・宗教・ことばの違 いを越え、地域で共に生 きるには」	オンライン	16 名
8 月 20 日(土) 14:30~16:30	長生・夷隅地区	「LGBT を知ろう!」 講義及びグループディス カッション	東郷福祉センタ ー+オンライン	19 名
8 月 27 日(土) 10:00~12:00	千葉市花見川区・習志 野市・八千代市地区+ 船橋市・鎌ヶ谷市地区 合同地域集会	ソーシャルワーク実践報 告「キャンパス・ソーシャ ルワークとは~大学にお ける社会福祉士採用」  参加者の意見交換・交 流	オンライン	10 名
9 月 10 日(土) 18:00~19:30	山武・東金・芝山・横芝 光・大網白里・九十九里	ソーシャルワーク実践パ ート 1(医療・児童・障が	成東中央公民館 +オンライン	22 名

	地区	い分野編)		
9月21日(水) 19:00~21:00	第91回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山)	経験談、悩み相談	オンライン	9名
10月9日(日) 13:00~16:00	市川・浦安・松戸地区	自己紹介 第2部 交流タイム	いもっこかふえ	13名
11月16日(水) 19:00~21:00	第92回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山)	近況報告	柏市社会福祉協議会 いきいきプラザ内	12名
1月18日(水) 19:00~21:00	第93回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山)	おすすめ本の魅力をプレゼンバトル	オンライン	8名
2月11日(土・祝) 18:00~20:00	山武・海匝・香取地区合同地域	ソーシャルワーク実践パート2(高齢・地域福祉・分野編)	成東中央公民館 +オンライン	24名
2月24日(金) 19:00~21:00	市原地区	自己紹介・現状報告等	さかなや道場	30名
3月15日(水) 19:00~21:00	第94回福祉道場(柏・我孫子・野田・流山)	『支えている人を支えるために ~ヤングケアラーを支援するということ~』	ケアラズカフェ & オレンジカフェ みちくさ亭+オンライン	15名
3月17日(金) 18:45~20:15	千葉市緑区	緑区障害者基幹相談支援センターについて、近況報告	オンライン	14名

#### イ 組織強化のための他の職能団体との協働研究

##### ● 千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会

千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会と協議を行い、研修を実施。

『地域で生きる』を支援する～かかわり・つながり・協働する～外国人支援の基礎知識

開催日:2月19日(日)13時半~17時

場所:オンライン 撮影 千葉市中央区基幹型相談支援センター 会議室

参加者:42名

内容:南野 奈津子教授による講義、グループワーク、参加者による情報交換

##### ● 福祉と司法の千葉県連絡協議会

2017年千葉県弁護士会の呼びかけで誕生した。千葉県医療ソーシャルワーカー協会、千葉県精神保健福祉士協会、千葉県公認心理師協会を加えた5団体。外国人の生きる権利を考える裁判の報告を共有し、外国人の生きる権利を考える会立ち上げに参画。

● 令和4年度千葉県いじめ問題対策連絡協議会

開催日:8月4日(木)

いじめは、家庭に貧困などの背景も影響している。誰も加害者にも被害者にもしないような包括的なアプローチが必要ではないか。いじめ問題というと被害者の救済に焦点があてられがちだが、加害者を生み出している構造へ働きかけていくことにソーシャルワークの意義があることを理事会などで共有した。

● 子ども若者のアドボカシーについて考えよう

開催日:3月5日(日)13時半~16時

場 所:千葉県弁護士会館 オンライン併用

内 容:講義 内閣官房こども家庭長設立準備室政策 参与 川瀬信一氏

全国子どもアドボカシー協議会 委員 元要保護児童当事者と弁護士会、社会福祉士会、PSW協会、MSW協会からの登壇者によるシンポジウム

● 「暮らしとところの相談会」相談員派遣

開 催 日:9月17日(土)13:00~16:00

場 所:香取市佐原中央公民館

派遣相談員:服部 明氏、白井 正和氏、飯田 大輔氏

開 催 日:3月25日(土)13:0~16:00 自殺対策強化月間全国一斉開催

場 所:ライフアップ習志野

派遣相談員:樽林 元樹氏、檜尾 則美氏、山崎 泰介氏、間島 淳子氏、塩原 貴子氏

②広報部会

ア 機関紙「点と線」発行 2022年度 年3回発行

zoomを活用したインタビュー方式を新たに取り入れ、対談形式での記事づくりに新たに取り組みました。また、表紙に掲載広告を導入し、会の収入確保に取り組みました。

(実績:広告掲載5回(2社)11,000円×5=55,000円)

● 第109号 <特集>新理事紹介「自分の栄養分」

- ・社会福祉士のわ
- ・トピックス「地域支援業務の醍醐味」
- ・温泉逍遥
- ・掲載広告募集
- ・地域集会
- ・事務局便り

2022年7月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,568名(発送 1,081件、メール配信 487件)、関係団体 856件

● 第110号 <<特集>>「地域集会を企画しよう」

地域集会

こ・ら・む～ソーシャルワーク実習の受け入れを行って～

社会福祉士のわ

ストレートネックマンの部屋

外部理事・相談役紹介

事務局便り

2022年11月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,585名(発送 1,093件、メール配信 492件)、関係団体数 855件

● 第111号 <<特集>>「多分野で活躍するSW」

・社会福祉士のわ

・SW実習変更のポイント

・孤独・孤立相談ダイヤル

・談話室 社会福祉士会懇親会に参加して

・事務局便り

2023年3月 12頁 2,500部発行

配布 会員数 1,581名(発送 1,073件、メール配信 508件)、関係団体数 853件

※ 配布先の関係団体

相談機関窓口や地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会、社会福祉士養成校等

イ ホームページの維持・管理

● 研修、求人などの情報提供

イベント掲載 85件、本会主催の研修 29件

求人情報 110件

ウ 広報部会の開催

編集会議、編集作業、発送作業(各年3回)

※発送作業は障がい者就労支援事業所に委託した。

(2) 総合相談委員会

総合相談委員会では、高齢者虐待対応関連の事業を中心に活動を行った。

今年度も高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業(受託事業)を千葉県から委託を受け開催。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染予防のためオンライン開催とした。オンライン開催となってから参加人数が増加している。

また、高齢者虐待対応専門職チームへのチーム員派遣についても、対応できる会員が減ってきている。これらの課題を解決するため、令和3年度では日本社会福祉士会が主催する虐待対応専門研修へ会員を3名推薦して、うち2名が研修を修了し、令和5年度以降より、一緒に活動する予定である。

一方で県からの委託事業である高齢者虐待防止対策研修事業は、今後委員会から切り離して会の事業運営に変更を現在検討している。委員会活動でこの事業を継続していくには一定の限界があるからで

あり、2023年度も継続して今後、委員会のあり方も含めて議論していく。

#### ①高齢者虐待防止事業

ア 高齢者虐待防止対策研修および高齢者虐待対応現任者標準研修事業(受託事業)

- 管理職、初任者向け

開催日:2022年8月29日(月) PC接続台数 115台

開催方法:オンライン研修

- 現任者向け(市町村・地域包括職員向け)

開催日:2022年12月5日(月) PC接続台数 114台

2022年12月13日(火) PC接続台数 115台

2022年12月19日(月) PC接続台数 105台

開催方法:オンライン研修

- 専門研修(市町村・地域包括職員向け)

開催日:2023年3月7日(火) PC接続台数 205台

開催方法:オンライン研修

イ 高齢者虐待対応専門職チームへの参加(受託事業)

・チームメンバー派遣回数 1回

#### ②相談事業

今年度は参加の機会がなかったため、実施せず。

### (3) 研修委員会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等をオンラインによる開催とした。一方で、一部研修や事業(社会福祉士実習指導者研修、社会福祉士国家試験対策講座等)においては、引き続き感染対策の徹底をし、集合型研修の開催を試み、

コロナ禍における研修の在り方や研修委員会の運営について模索する一年であった。

#### ① 委員会・部会会議

2022年7月22日(金)19:00~21:00全体会議(ZOOM)

出席者:浅見 雅人、堀江 亜希子、白井 正和、仲野 勢津子、古川 由布子、近藤 涼子、矢戸 孝紀、竹村 葉子、石山 明子、助川 純子、佐藤 慈洋

・新任理事の紹介

・基礎研修、模擬試験作成、和洋女子大学講義、実習指導者養成講習会等について

2022年12月8日(木)19:00~21:00 コアリーダー会議(ZOOM)

出席者:浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 慈洋

・研修委員会 2023年度 予算報告について

基礎研修講師養成研修 必須になる件

国家試験講師と模擬試験講師申し込み進捗状況

2022年1月5日(木)19:30~21:15 コアリーダー会議(ZOOM)

出席者:浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 慈洋

- ・ 基礎研修 I II III 開催方法の検討
- ・ 2023年度 基礎研修 I II III 開催 チラシ日程について
- ・ 模擬試験作成、和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣講義、実習指導者養成講習会等の報告

2023年1月30日(月)19:00~21:15 コアリーダー会議

出席者:浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 慈洋、田尻 真人

- ・千葉県社会福祉士会の事務局員への負担軽減方法
- ・ICT化の促進について

2023年2月13日(月)19:00~21:15 コアリーダーと三役メンバーとの意見交換会議

出席者:

研修委員・・浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 慈洋、田尻 真人  
三役メンバー・・榎林 元樹、伊藤 佳世子、山口 利史、古澤 肇、及川 哲、秦野 隆治

- ・来年度の基礎研修開催の有無

2023年2月20日(月)19:00~20:30コアリーダー会議と三役メンバーとの意見交換会議

出席者: 研修委員・・浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 慈洋

三役メンバー・・古澤 肇、伊藤 佳世子

- ・2023年度の研修システムの変更と基礎研修の内容について

2023年3月3日(金)19:00~20:30 コアリーダー会議

出席者: 浅見 雅人、白井 正和、堀江 亜希子、矢戸 孝紀、佐藤 慈洋、田尻 真人

- ・基礎研修のチラシ申し込み作成について

2023年3月30日(木)19:00~20:30 コアリーダー会議

出席者: 堀江 亜希子、矢戸 孝紀、白井 正和、浅見 雅人

- ・基礎研修 I II IIIチラシ作成、最後の支払い

【2023年度基礎研修 I ~ III運営について】

- ・ 講義はeラーニングを活用し、演習はオンライン研修と一部集合研修を組み合わせる運営を行う。

【委員会の組織化について】

- ・委員の負担軽減と役割分担について

負担が主要メンバーに集中しており、委員の増員を図り、効率的な役割分担を図る。

- ・その他、受託事業の運営について

委員の人員と事業運営の準備が整い次第、実施に検討に入る。

② 研究大会 県民公開講演

対象講演がない為、中止とした

### ③ 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等

#### ●基礎研修Ⅰ(一部eラーニング受講及びZOOMにて実施)

第1回:2022年9月3日(土)9:30~17:00

講師:各委員会委員長、堀江 亜希子 受講者 55名

第2回:2023年 2月5日(日)基礎研修Ⅰ第2回

講師:堀江 亜希子、田尻 真人 受講者 53名

#### ●基礎研修Ⅱ(ZOOMオンライン研修にて実施)

第1回:2022年 5月22日(日)9:30~17:00 講師:小野寺 浩 受講者 48名

第2回:2022年 6月12日(日)9:30~17:00 講師:小野寺 浩、矢戸 孝紀 受講者48名

第3回:2022年 7月17日(日)9:30~17:00 講師:小野寺 浩 受講者 47名

第4回:2022年 8月21日(日)9:30~17:00 講師:矢戸 孝紀 受講者 46名

第5回:2022年 9月25日(日)9:30~17:00 講師:矢戸 孝紀 受講者 49名

第6回:2022年 10月 9日(日)9:30~17:00 講師:石山 明子 受講者 49名

第7回:2022年 11月13日(日)9:30~17:00 講師:石山 明子 受講者 48名

第8回:2022年 12月 4日(日)9:30~17:00 講師:石山 明子 受講者 46名

第9回:2023年 1月15日(日)9:30~17:00 講師:矢戸 孝紀 受講者 49名

第10回:2023年 2月19日(日)9:30~17:00 講師:石山 明子 受講者 48名

#### ●基礎研修Ⅲ(ZOOMオンライン研修にて実施)

第1回:2022年 5月21日(土)9:30~17:00 講師:宮下 朱実 受講者 33名

第2回:2022年 6月11日(土)9:30~17:00 講師:田尻 真人 受講者 32名

第3回:2022年 7月16日(土)9:30~17:00 講師:田尻 真人 受講者 31名

第4回:2022年 8月20日(土)9:30~17:00 講師:竹村 葉子 受講者 32名

第5回:2022年 9月24日(土)9:30~17:00 講師:俵 はるみ 受講者 33名

第6回:2022年 10月 8日(土)9:30~17:00 講師:俵 はるみ 受講者 33名

第7回:2022年 11月12日(土)9:30~17:00 講師:立川 大輔 受講者 32名

第8回:2022年 12月 3日(土)9:30~13:00 講師:立川 大輔 受講者 32名

第9回:2023年 1月14日(土)9:30~17:00 講師:立川 大輔 受講者 30名

第10回:2023年 2月 4日(土)9:30~17:00 講師:浅見 雅人 受講者 32名

第11回:2023年 2月18日(土)9:30~17:00 講師:浅見 雅人 受講者 31名

※基礎Ⅰ～Ⅲ いずれも、第1回開講前に接続テストを行い、受講生の受講環境の確認等を実施

#### ●社会福祉士実習指導者養成研修 ※感染症対策に基づき集合研修を実施

日 時:2022年11月19日(土)、20日(日)

開催場所:千葉県社会福祉協議会(社会福祉研修センター内)

講師：浅見 雅人氏、白井 正和氏、神山 裕也氏

受講者(修了者):32名

④ 社会福祉士国家試験受験対策

【和洋女子大学社会福祉士受験対策講座受託 講師派遣】

日時:2022年7月14日(水)19:00~20:30

場所 和洋女子大学のzoomを使用

参加者 和洋女子大学:高木秀代先生 庄司妃佐先生

千葉県社会福祉士会:浅見 雅人、宮本 哲男、染野 貴寛、岡本 崇広、白井 正和

内容:大学側からの依頼内容の確認、質疑応答

●和洋女子大学での授業(全19科目)

2022年10月11日(火)~2022年12月20日(火)

講師名(担当科目)

相澤 雅則 氏(保健医療サービス、人体の構造及び疾病)

西澤 将行 氏(障害者に対する支援と障害者自立支援制度、就労支援サービス)

鈴木 将人 氏(低所得者に対する支援と生活保護制度)

堀江 亜希子氏(心理学理論と心理的支援)

岡本 崇広 氏(児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、相談援助の理論と方法ⅠⅡ、社会理論と社会システム 直前対策講義)

立川 大輔 氏(現代社会と福祉、福祉サービスの組織と経営)

岡田 英明 氏(権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法)

浅見 雅人 氏(高齢者に対する支援と介護保険制度、社会調査の基礎、社会保障)

石山 明子 氏(更生保護制度、相談援助の基盤と専門職)

高田 俊彦 氏(福祉行財政と福祉計画)

【JC教育研究所Web模試問題作成】

●2022年度JC国家試験受験対策

・2022年8月 模擬試験問題 19科目・150問納品

・2023年2月 国家試験解答分析(速報コメント作成)

・2023年3月 国家試験解答解説 19科目・150問納品

※担当講師科目担当は、ほとんどが和洋女子大学の講師であるが、

「高齢者に対する支援と介護保険制度」については、豊下 智大氏が担当し、

「低所得者に対する支援と生活保護制度」については、安藤 宏之氏が担当している。

⑤ 養成・教育機関との連携事業

●淑徳大学への講師派遣

・科目名 :卒後教育と人間開発Ⅰ(前期/後期)

・開催場所：淑徳大学

・連携団体：千葉県精神保健福祉士協会、千葉県医療ソーシャルワーカー協会、  
千葉県弁護士会 社会福祉委員会

### 1)概要

社会福祉実践教育(専門)の「総仕上げ」として位置づけ、現場実習を終え、就職活動と社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験を控えた学生を対象とし、就職先で求められる即戦力(柔軟な思考力や行動力)を養うことを目的とされた授業に、講師として本会より会員を派遣。各福祉職専門団体、実践現場、マスコミや千葉県弁護士会社会福祉委員会有志弁護士等と講義及び演習を実施する。

### 2)授業内容及び形態

前期は担当教員の作成した教材により実施。後期は、ZOOM等を使用し、演習を取り入れ、アクティブラーニングの手法を用いた授業を実施。

#### テーマ

前期:「ソーシャルワークの実際」を各方面から理解、体験する。

事例を用いて、現場のソーシャルワーク実践や関連する領域について概説。

後期:「実践とソーシャルワーカー」について考える。

講義や事例検討を通してソーシャルワーカーとしての立脚点等を学ぶ。

### 3)到達目標

ジェネラリストソーシャルワーカーとしての視点、知識、技術、姿勢の醸成。ソーシャルワーク実践力、支援のネットワークづくり形成力、コーディネート力等基礎の醸成。

### 4)講師

渋谷 茂氏、宮間 恵美子氏、田尻 隆氏、鈴木 将人氏、松本 拓馬氏、平野 香氏、  
神山 裕也氏、田中 悦子氏

### ⑥ 日本社会福祉士会主催委員会及び各種研修への委員派遣について

#### ●2022年度 第1回 全国生涯研修委員会会議(ZOOM)

日 時:2022年5月15日(日)13:00~17:00

テーマ:オンライン研修の先事例発表、オンライン研修の課題

出席者:浅見 雅人

#### ●2022年度 第2回 全国生涯研修委員会 会議(ZOOM)

2022年9月24日(土)13:00~17:10

2022年9月25日(日)9:00~13:25

出席者:浅見 雅人、白井 和正

テーマ:オンライン研修の事例発表

#### ●2022年度基礎研修講師養成研修

日 時:2023年2月11日(土)、2023年2月12日(日)開催(ZOOM)

日本社会福祉士会主催 令和3年度基礎研修講師養成研修 5名推薦  
推薦者:竹村 葉子、白井 正和、堀江 亜希子、小野寺 浩、浅見 雅人

●地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク実践力養成研修

日時:2023年3月12日(日)10:00~17:15

日本社会福祉士会主催

推薦者:福間 勝可、石橋 大輔、塩原 貴子、白井 正和

●新スーパーバイザー養成研修

日本社会福祉士会主催 新スーパーバイザー養成研修 1名推薦

推薦者:宮下 朱実

⑦ スーパービジョンの支援

スーパービジョンについては、各県士会でスーパーバイザーを把握し、スーパービジョン希望者とのマッチング、スーパーバイザーの養成が求められているが、当会は整備が進んでいない状況である。今後は、スーパーバイザー養成研修修了者を対象にスーパービジョンのマッチングを積極的に進めていき、認定社会福祉士機構の名簿をもとに、当会独自のスーパーバイザー名簿作成に尽力する。

#### (4)権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会

2022年度は、第二期成年後見制度利用促進計画(2022年から2027年)初年度である。この計画では、地域共生社会の実現を目指し、権利擁護支援のなかでの成年後見制度の重要性が明確化された。

ぱあとなあ千葉は、より一層に地域社会に必要とされる専門職団体としての使命、そして責任がある。日々、関係機関との連携を図り、地域連携ネットワークを構築していくことが求められている。研修テーマとしては、「意思決定支援」「チームケア」の2本柱があり、必須登録員研修でも学びを深めた。

また、後見事務においては、日本社会福祉士会が開発された、活動報告書システムを2022年度の定期報告から導入した。ぱあとなあとしては、紙媒体での管理からシステムを使用した大きな変革期となった。導入業務にあたった運営委員、協力員のメンバーの方々には、改めて感謝である。

今後は、更なるICT化の中で、事務局や運営委員の業務負担軽減、登録員の後見事務の効率化になるよう、体制整備をしていく。登録員全員が活動報告システムを使用し、後見事務がスムーズにすすめることを目標とする。

2023年1月の理事会においては、報酬助成に関する規程を改正した。家裁からの後見人等の依頼数と登録員の増加に伴い、受任会費の納付金額の上限廃止、また、受任会費の用途拡大(報酬助成の事務に限らず、登録員の全体活動に支出ができる)をした。

登録員全体の高齢化(65歳以上は、4割を超える)、また、関係機関からの問い合わせや苦情も増え、助言・指導、また、辞任、選任の手続きが必要な登録員も増加している。日々、運営委員で対応している。2023年4月からは、ぱあとなあ担当の事務員を週5日で配置とした。

#### I 2022年度の事業概況

登録員は、324名、家裁からの後見人等推薦依頼件数は、468件あり、昨年より約50件減少したが、総受任件数は、1922件となり、85件増加している。運営委員会及び県社士会事務局の業務量(コーディネート、研修、業務管理業務及び付随する事務作業等)は、年間を通じて逼迫している状況がある。

年 度	登 録 員	家裁からの推薦依頼件数	総受任件数
2016	225	201	937
2019	263	426	1402
2020	302	416	1574
2021	320	522	1837
2022	324	468	1922

## 1. 運営委員会事業

### 第1回 運営委員会

開催日 2022年4月27日(木)16:30~18:30【ZOOM開催】

出席者 浅見・石橋・今川・越後谷・朽名・佐野・四ノ宮・古澤・吉田・倉下(書記)

- 内 容
- ・活動報告書提出確認(1772件)
  - ・報酬助成審査会の開催予定
  - ・神奈川県社会福祉士会の視察報告
  - ・電話相談について
  - ・2022年度事業計画の承認
  - ・次期の運営委員の選出について

### 第2回 運営委員会

開催日 2022年6月16日(木)16:30~18:30【ZOOM開催】

出席者 浅見・石橋・越後谷・太田・小川・朽名・倉下・四ノ宮・長尾・古澤・武藤・吉田・今川(書記)

- 内 容
- ・報酬助成審査会
  - ・運営委員、協力員の増員について
  - ・必須登録員研修準備
  - ・ICTなりすましメールの注意喚起
  - ・ぱあとなあニュースの発行7月号

### 第3回 運営委員会

開催日 2022年7月28日(木)16:30~18:30【ZOOM開催】

出席者 石橋・太田・岡元・倉下・四ノ宮・古澤・吉田・飯田・木岡・堀越・長尾・小川・今川・越後谷(記録)

- 内 容
- ・運営委員長、副委員長、各担当
  - ・新任運営委員 2名承認 15名
  - ・総会報告 2021年度の事業報告の訂正
  - ・研修、コーディネート、業務管理
  - ・法人後見、報酬助成審査会、未成年後見
  - ・ささえあい制度 負担金配分

・総会資料の訂正について

第4回 運営委員会

開催日 2022年8月25日(木)16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 飯田・石橋・岡元・木岡・四ノ宮・長尾・古澤・吉田・浅見・太田(記録)

- 内 容
- ・新事務局員の採用
  - ・運営委員2名推薦
  - ・研修準備、運営
  - ・登録員のしおりの改定について

第5回 運営委員会

開催日 2022年10月27日(木)16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 浅見・安藤・飯田・石橋・越後谷・太田・小川知・木岡・朽名・倉下・四ノ宮・長尾・古澤・堀越・岡元(記録)

- 内 容
- ・新規運営委員2名の承認 17名
  - ・三士会の家裁への要望書
  - ・2023年度の事業計画と予算
  - ・日本会の活動報告システム
  - ・報酬助成審査会 2022年5月~10月20日まで申請6件
  - ・法人後見の報告
  - ・成年後見利用促進地区別意見交換会
  - ・受任会費の用途拡大及び納付額の上限廃止について

第6回 運営委員会

開催日 2022年12月8日(木)16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 浅見・安藤・飯田・石橋・太田・大浦・岡元・小川知・木岡・倉下・四ノ宮・長尾  
古澤・堀越・吉田

- 内 容
- ・三士会の家裁への要望書
  - ・2023年度の事業計画と予算
  - ・活動報告書システム導入 説明会の実施
  - ・報酬助成審査会
  - ・コーディネート 辞退案件、登録員辞任、死亡案件、受任上限30件について
  - ・未成年後見 事例検討会
  - ・受任会費の用途拡大及び納付金額上限廃止について

第7回 運営委員会

開催日 2023年1月12日(木)

出席者 浅見・飯田・石橋・越後谷・太田・大浦・岡元・木岡・朽名・倉下・助川・長友  
古澤・堀越・吉田・小川知(記録)

- 内 容
- ・活動報告システムの導入、説明会 1/19、21、23、25

- ・コーディネート 依頼件数、電話相談
- ・業務管理部会 苦情、辞任の相談
- ・ぱあとなあニュース発行(HPに掲載)
- ・名簿登録研修
- ・各自治体の中核機関の状況、利用支援事業について
- ・神奈川県社会福祉士会ぱあとなあ視察について

## 第8回 運営委員会

開催日 2023年3月2日(木) 16:30~18:00【ZOOM開催】

出席者 安藤・飯田・石橋・越後谷・太田・小川知・朽名・倉下・四ノ宮・長尾・堀越・吉田・中山・助川・長友・古澤・木岡(記録)

- 内容
- ・受任会費の使途拡大、納付金額の情願廃止 理事会で承認
  - ・新規運営委員1名 理事会へ提出
  - ・関東ブロック連絡協議会の報告
  - ・各委員や講師派遣について
  - ・家裁との協議
  - ・活動報告システムについて
  - ・登録員の苦情について
  - ・コーディネーターの負担について
  - ・全体会
  - ・ICT化について

## 2. 研修事業

- ・「必須登録員研修」登録員は必須の研修、年1回以上の研修参加が名簿登録の要件  
→実施2回(ZOOM開催) 延 325名  
1回目 2022年7月30日 住田 敦子氏 184名  
「今後の社会福祉士後見人に期待される役割」～権利擁護支援チームと地域連携ネットワーク～  
2回目 2023年1月28日 星野 美子氏 141名  
「ぱあとなあ名簿登録会員に期待される役割」～第二期成年後見制度利用促進計画を受けて～  
※65名が不参加 ⇒事情があって不参加だった方には、救済措置でレポート提出。  
また、2023年度からは、欠席は原則認めず、やむを得ない場合は、理由を添える。
- ・「千葉サポート研修」→受任3年未満の方が対象、年間2回以上の研修参加が名簿登録の要件  
実施6回(ZOOM開催) 延 269名 平均約45名  
第1回 5月14日 初回報告 石橋 大輔氏 28名  
第2回 6月25日 居住用不動産 司法書士 岩佐 博行氏 54名  
第3回 8月27日 死後事務 櫻井 勉氏 53名  
第4回 10月29日 身上保護 浅見 雅人氏 40名  
第5回 11月26日 生活保護 佐藤 むつみ氏 49名  
第6回 2月25日 関係機関、家裁とのかわり 吉武 美樹氏、古澤 肇氏 45名

・「レベルアップ研修」→実施2回(ZOOM開催)

第1回 10月22日 善管注意義務について 岩佐 博行氏 40名

第2回 12月03日 負債について 土井 義昭氏 45名

・「人材育成研修」→開催(対面、ZOOM開催) 38名(茨城県5名)

・「名簿登録研修」→開催(対面開催) 30名

・「弁護士との事例検討会」(ZOOM開催)

第1回 11月19日 33名 第2回 2月18日 35名 両回とも 弁護士 佐久間 貴幸氏

・「支援者のための成年後見制度活用講座」(ZOOM開催) →9月24日・25日 37名

※2023年度、今後もオンライン研修を主体とする。

### 3. 業務管理(活動報告書の読込、受任者(指名個別)面談)事業【詳細は部会報告】

昨年度の読込作業件数は約1,800件、受任者面談は、13名(定期報告9件、臨時4件)の実施。

2022年12月からは、活動報告システムを導入しました。約29名が紙提出。

### 4. コーディネート事業【詳細は部会報告】

会議・作業は、前年度に続き、WEB会議とクラウドシステムを活用した形で実施。家裁からの後見人等推薦依頼件数は、前年度より約50件減り、約470件。また、家裁にお断りしたケースも約20件。受任できる体制整備、また、フォロー、相談体制の整備も課題。

電話相談は、前年度に続き週2日、事務局での受付(メールでも可)、相談員の自宅(事務所)での対応。相談件数は約146件(前年度約160件)、半数以上は登録員からの相談。

### 5. 報酬助成制度事業【詳細は部会報告】

ばあとなあ千葉独自の報酬助成制度の運用です。報酬助成の原資となる受任会費の2022年度の納付総額は、2,340,000円。2022年12月末までの報酬助成申請件数は12件で、6件が助成可、2件が保留、2件が取下げ、2件が助成不可。助成総額は、742,500円。

### 6. 渉外・ソーシャルアクション

・家裁との意見交換会を、2023年3月に実施。

・三士会として報酬についての要望書を千葉家裁に提出。

・成年後見制度利用支援事業拡充に向けた自治体への要望の中では、流山市、松戸市、八千代市、千葉市などは、改正。自治体等から中核機関関連の委員派遣の要請も増えており、今後、情報交換も含め、健全な成年後見制度利用促進に向けた組織的な対応を考えていくことが課題。

### 7. 登録員に対する苦情対応

登録員の後見活動に関する注意喚起・改善勧告、関係者からの相談・苦情等も増加。

不当な苦情等に対しては、登録員の擁護に努めたが、不適切な後見活動、例えば、被後見等を支える  
他

の専門職、関係者との連携、意思疎通の不十分さ、後見人と連絡が取りづらい等が確認された場合には、

当該登録員の活動改善のための個別面談、指導・助言を実施。

本人、家族、関係機関との連絡調整、チームケアの中で、課題や問題があった際には、早めに、ばあとなあに、連絡、ご相談するように依頼。

登録員の高齢化や病気等による辞任の相談は、必ず事前にばあとなあへ相談を依頼。

## 8. その他

○未成年後見の受任中の案件は、5件(昨年6件)。(活動報告システムは、未対応)

○法人後見の受任中の案件は1件。2023年度法人後見を辞任して個人後見等へ移行していく予定。

○リスクマネジメント部会及び独立型社会福祉士部会は、活動休止。

○支部作りの準備

登録員数、コーディネート件数の増大への対応として、ばあとなあ千葉の諸事業(コーディネート、研修、相談・支援・苦情処理)を担っていける体制(裁判所毎の地域別の支部)づくりをできる地域から進めていく。

○全体会 2023年3月11日 45名参加 ※活動報告書システム、支部づくりについて

## コーディネート部会の報告(2022年度)

2022年度(2022年4月～2023年3月末)における家庭裁判所からの後見人等の推薦依頼件数は468件で、前年度の522件から約50件減少しました。しかし、受任候補者を推薦出来ず、辞退した案件は19件で、前年度の17件を上回る。結果として、2022年度は、辞退案件と申立取下等のキャンセル案件8件を除いた、441件を登録員が新たに受任。

また、電話相談対応は、146件(一般59件、登録員87件)(前年度161件)。

コロナ禍以降、コーディネート作業は、クラウドシステムを活用し、9人の担当者がそれぞれの担当地区(家裁支部)の依頼案件に応じて、推薦候補者を選定し、順次候補者へ電話での案件説明、受任打診等を実施。コーディネーターの負担も大きく、原則として、任期は1年。

ICT化を更に進める準備中であるが、今後、より多くの登録員にコーディネーターの担当が不可欠。

表1 家裁支部別依頼件数(2022年4月～2023年3月末)

全体	市川	松戸	本庁	佐倉	木更津	佐原	一宮	八日市場	館山
468 (522)	116 (129)	111 (136)	111 (123)	66 (53)	26 (26)	16 (16)	14 (18)	4 (6)	4 (10)

※ 辞退19件、キャンセル8件。( )内は2021年度。

表2 依頼案件の類型(2022年4月～2023年3月末)

全体	後見	保佐	補助	(未成年)
468 (522)	311[66%] (352[66%])	112[24%] (123[24%])	44[9%] (46[9%])	1 1

※ ( )内は2021年度。

## 業務管理部会からのお知らせ

### 【活動報告書について】

2022年度の活動報告書総数は、1922件(昨年比+約100件)で、2023年3月～4月にかけて読込を実施。

今後の活動報告システム入力提出にあたっての留意点

●随時報告(初回報告・終了報告)の提出時期・内容について

・2023年1月31日までに提出が必要な随時報告(初回報告・終了報告)は、活動報告システムにて受理できない。

・2023年2月1日以降に提出が必要な随時報告(初回報告・終了報告)は、活動報告システム 随時報告にて入力提出。

#### 【受任者面談の実施】

2022年9月に、定期の活動報告にて面談希望、新規受任又多数受任登録員を対象に個別面談をZOOMにて9件実施。相談内容の概要として、死後事務、辞任、関係機関との連携、30件以上の受任、通帳管理、居住用不動産処分について。

また、臨時面談としては、関係機関からの問い合わせや苦情、登録員の病気について4件対応。

## 報酬助成の報告

2023年1月の理事会において、この規程の改正が承認された。受任案件数に応じた納付額の上限(1件につき2千円、上限15件3万円)を廃止。来年からは、15件以上(新規、低報酬案件除く)の受任の方の納付額の上限は廃止。仮に20件とすると、受任会費は、4万円。また、この報酬助成の使途の拡大も承認された。報酬助成、それに伴う事務費以外で、ぱあとなあの活動(コーディネートや業務管理等)でも支出ができるよう使途を拡大とした。

各市町村の成年後見制度利用支援事業(後見報酬助成制度)は、ソーシャルアクションもあり、少しずつ見直しがされてきている。

(活動状況)

[審査会実績及び申請件数]

・2022年度第1回報酬助成審査会 2022年6月14日

6件申請(内3件は、2022年1月から3月の申請) 3件適 1件保留 1件取り下げ 1件却下

・2022年度第2回報酬助成審査会 2022年10月27日

6件申請 3件適 1件保留 1件取り下げ 1件却下

[助成額 上記審査会期間分]

・助成金額は、6件 742,500円

2022年8月19日入金 3件 ①150,000円 ②102,500円 ③50,000円

2023年1月06日入金 3件 ①150,000円 ②140,000円 ③150,000円

※2023年度は、4月、9月、1月と年間3回設定し、早期の支給に努める。

※※2023年1月から3月に申請の6件は、2023年4月審査会対象。

※新メールアドレスについて

千葉県社会福祉士会では、新たにメールアドレスを取得。研修の案内などで使用。

受信できるように設定のお願い。新メールアドレス [info@cschwchiba2.sakura.ne.jp](mailto:info@cschwchiba2.sakura.ne.jp)

## (5) 司法福祉委員会

2022 年度も日本社会福祉士会認定機構の認定研修、刑事司法ソーシャルワーカー実務研修(基礎編・応用編)を実施した。この講座は、千葉県弁護士会と千葉県社会福祉士会の共催となっている。この講座を修了すると司法福祉委員会のメーグリストに登録することができる。千葉県社会福祉士会が千葉県弁護士(主に国選弁護人)からの依頼を受け、司法福祉委員会の刑事司法ソーシャルワーカー登録委員の中からマッチング支援で受任する。2022 年度の依頼件数は 3 件だった。受任した司法福祉委員は弁護士と協同し被疑者(障害者・高齢者)の入口支援に関わり支援している。この事業を充実させるために、学習会を設け受任者の実践等を振り返り研鑽を積んでいる。

### ① 運営委員会の開催

#### 第 1 回司法福祉委員会

開催日 : 2022 年 6 月 18 日(土)10:00~12:00

開催場所 : Zoom にて開催

参加者 : 9 名(宮下、伊藤、青沼、大浦、多田、松丸、足立、宮崎、小川)

内容 : 2022 年度のスタートにあたり各担当より計画と意見

#### 第 2 回司法福祉委員会

開催日 : 2022 年 9 月 17 日(土)10:00~12:00

開催場所 : Zoom にて

参加者 : 8 名(宮下、青沼、大浦、吉田、多田、足立、野村、小川)

内容 : 認定研修・基礎編の反省と学習会委員から報告

マッチング支援 : 1 件

その他「10 年後の社会福祉士会の在り方について」

#### 第 3 回司法福祉委員会

開催日 : 2022 年 12 月 17 日(土)10:00~12:00

開催場所 : Zoom にて

参加者 : 6 名(宮下、伊藤、多田、松丸、宮崎、小川)

内容 : 日本社会福祉士会認定研修・応用編の開催手順等について  
学習会担当、マッチング担当より報告

### ② 研修

日本社会福祉士会認定研修開催

開催場所 : 千葉県弁護士会館&ZOOM によるハイブリッド研修

基礎編 : 2022 年 7 月 23 日、24 日

受講者 : 43 名

応用編 : 2023 年 1 月 21 日、22 日

受講者 : 27 名

### ③ マッチング支援

2022 年度の受任件数は 3 件

### ④ 学習会

#### 第 1 回学習会

開催日 : 2022 年 9 月 10 日(土)(13:00~14:30)

開催場所 : Zoom にて

参加者 : 10 名

内容:福祉職が刑事裁判の証人になる場合の留意点  
 講師:土屋弁護士  
 第2回学習会  
 開催日:2023年3月18日  
 開催場所:Zoomにて  
 参加者:8名  
 内容;山本 美穂氏、受任案件発表

## (6) 災害対策委員会

○2022年度災害対策委員会執行体制(理事改選に伴う委員長等の異動)

	2022年度	2021年度
委員長	服部 明	安藤 宏之
副委員長	伊藤 佳世子	服部 明

○災害対策委員会の開催

- ・第1回:2022年8月21日(日)午前10時~12時 参加者6名
- ・第2回:2022年11月5日(日)午前10時~12時 参加者5名

○災害発生時の被災地支援活動

2022年度において、当会として行った被災地支援活動はなかった。

○被災地支援活動協力員名簿の登録者数

2023年3月31日の時点で126名。(直近の登録者一斉更新:令和3年5月)

○第43回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

日時:2022年10月23日(日)午前10時30分~午後2時00分

出席者:服部災害対策委員長、伊藤災害対策副委員長

場所:大網白里アリーナ武道館(大網白里市上貝塚160)

参加:災害ボランティアセンター運営訓練に市民ボランティア役として参加

その他:同日、訓練の一環として同市立増穂北小学校で行われた避難所設置運営訓練において当会所属(法人推薦)DWAT登録員を含む千葉県DWATが訓練に参加。

○災害支援研修会の開催(オンライン開催)

日時:2023年1月14日(日)午後1時30分から午後3時30分まで

講義等:①富津市障害者基幹相談支援センター 大森 匠氏

「私の被災地受け入れ体験談」

②災害対策委員長 服部明

「千葉県社会福祉士会大規模災害対応ガイドラインを中心とした説明」

③意見交換

参加者:32人(申込者 当会員:18 他県社会福祉士会員:4 他団体等:10)

○神奈川県社会福祉士会『2022年度災害支援活動者養成研修』における活動報告

日時:2023年2月5日(日)午後1時~3時

報告者:服部災害対策委員長

内容:2019年台風15号による災害に際して他県社会福祉士会から支援を受けた経験

※ 報告に使用した資料は事務局で保管

○日本社会福祉士会 都道府県社会福祉士会災害担当者会議

日時：2023年3月12日(日)午前10時～12時

出席者：服部災害対策委員長

内容：「これまでの日本社会福祉士会の取り組み」と災害支援に係る法制度について  
・県士会からの報告(静岡県社会福祉士会、岩手県社会福祉士会)、意見交換

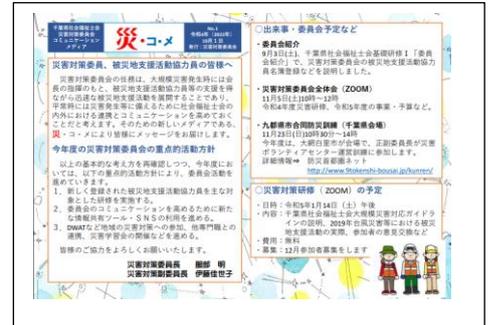
○新規事業 コミュニケーションメディア『災・コ・メ』の創刊

目的：災害対策委員会と被災地支援活動協力員間のコミュニケーションを強化する

媒体：A4サイズ2枚のPDFファイル

配布：被災地支援活動協力員メーリングリストにてメール添付送信

実績：3回発行(10月1日、12月1日、2月1日)



○千葉県災害復興支援士業ネットワーク 意見交換会(オンライン)

日時：第1回 2022年6月2日(木)午後5時30分～7時30分

第2回 2023年3月23日(木) 午後5時30分～7時30分

出席者：服部災害対策委員長

内容：千葉県との災害時の支援協定締結、所属団体のリスト作成など

○千葉県災害ボランティアセンター連絡会 定例会

日時：① 第1回 2022年7月12日(火)午後2時～4時 服部委員長出席

② 第3回 2023年3月8日(火) 午後2時～4時 伊藤副委員長出席

内容：九都県市合同防災訓練実施、活動実施計画・活動実施報告の承認など

○千葉県 DWAT シミュレーション訓練

日時：2022年8月2日(火)・3日(水) \*時間は不連続

参加者：DWAT 登録員、災害対策正副委員長、事務局職員

内容：大規模災害発生を想定したメールによる安否確認、派遣応諾の可否など

○内閣府 災害支援促進研修

日時：2023年1月16日(月)午後1時～午後4時30分

出席者：服部災害対策委員長

場所：千葉県庁大会議室

内容：当会、千葉県、千葉県社会福祉協議会など関係団体間の連携強化、意見交換

○災害ボランティアセンター立上げ図上訓練(オンライン)

日時：2023年1月27日(金)午後2時～午後4時

出席者：服部災害対策委員長

内容：災害発生を想定した災害ボランティアセンター立上げ訓練、連絡体制の確認など

(7) 倫理委員会

2022年12月13日(火)19:00～20:00 定例会議を行った。

2022年度は苦情申立なし

(8) 松戸市居住の安定確保支援事業業務委託

常勤の居宅移行支援員1名と非常勤の居宅移行支援員1名を事業課である松戸市役所生活支援課内に配置し、市内だけでなく市外の無料低額宿泊所等に入所している生活保護受給者等に対しても新型コロナウイルスの感染拡大の状況で、引き続き相談などに難しさがある中、積極的に支援を

進めてきた。

業務の内容は、事業課である生活支援課や市内外の無料低宿泊所との連携により、

19 名が居宅への移行(転居)を完了した。(内訳はアパート 12 名、介護施設 4 名、養護老人ホーム 2 名、障がいグループホーム 1 名)支援対象者 54 名、支援終了者 22 名(転居や施設入所し継続支援をした後は、課題終了とし支援終了)となった。

2022 年度は介護施設や養護老人ホームへの移行が例年に比べると多かった。介護施設への入所者の 4 名のうち 3 名は入院となり、無料低額宿泊所へ戻ることなく病院から介護施設へ移行。そうすると退院まで限られた期間で入所施設を速やかに探さないといけない為、病院や介護施設との緊密な連携や理解が重要となる。64 歳以下の健康な支援対象者は、就労の義務が課せられるが生活保護が廃止になる程の収入の見込みがないと転居条件を満たさないため(松戸市ルール) 以前より就労しても転居出来ることが難しくなり、結果的に無料低額宿泊所に留まってしまう。

委託期間:自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日 委託金額:12,366,660 円